

女性たちの写真と声が伝える 東日本大震災

3月14日(月)～3月31日(木)

9:00～21:00 (最終日は14時まで)「エセナおおた」1階展示コーナー

震災後、被災地の女性たちが日々の生活や仕事・ボランティアなどの場で写真を撮り、グループで語り合っ、写真に「声」(メッセージ)を添える「フォトボイス・プロジェクト」が福島県、宮城県、岩手県でスタートし、2014年には首都圏でも始まりました。

写真と「声」は一人ひとりの体験であるとともに地域や社会全体の課題を伝える貴重な記録です。語り合う、発信する、話し合いを重ねる中で、メンバーは伝えたいことを整理して「声」を作ってきました。5年間の様々な思いが詰まった写真展です。



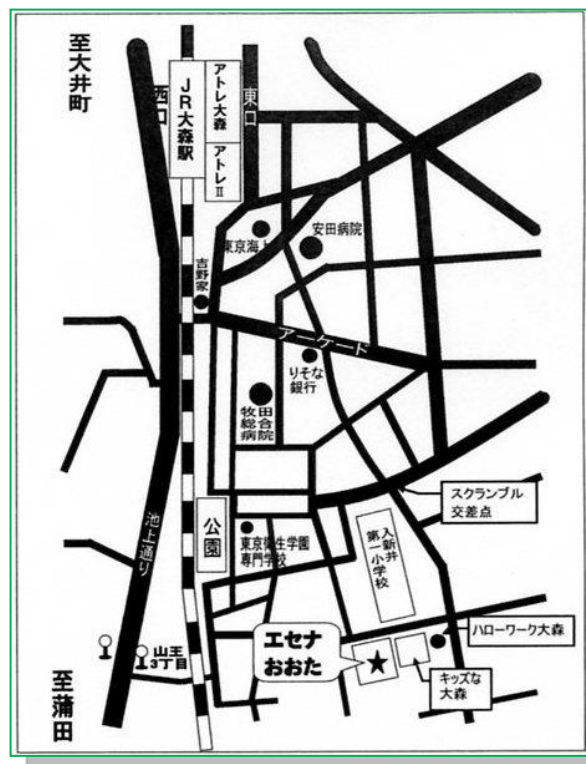
雨の日の朝

雨の日、一人登校する我が子。

福島の小学校へ入学するはずだったのだが…。

何となく寂しげな後ろ姿…どんな思いで学校へ向かっているのだろう。慣れない土地での生活、親子三人歩みだしたところである。

2014年4月 東京大田区自宅近くにて撮影 マリリン



主催:大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

共催:NPO 法人フォトボイス・プロジェクト / フォトボイスせんだい

フォトボイス
PhotoVoice展と集い
(撮影者の話を聴く会)

無料保育付き(1歳～未就学児)
定員 15名 (先着順・要予約)
保育申込み3月14日(月)までに

大震災から5年 ～私たちの今とこれから～

大田区で撮影者の話を聴く会をはじめて開催します。震災後5年を経過した、被災した女性たちの経験や思い、希望を聴き、これからを共に考えましょう。

3月21日(月・祝) 13:00～15:00 宮城県石巻・女川、福島県川内村 在住の撮影者三人

3月22日(火) 19:00～20:30 首都圏に避難している撮影者二人

会場：大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」会議室 B
対象：原則大田区在住・在勤・在学の方
定員：各回30名 (申込み先着順)



戻る場所？

毎日帰ってくるはずの我家の玄関。
しかし今は避難していて
一年に数回開けるだけとなってしまった。
戻るべきか？戻らざるべきか？
迷い続けてもう4年が経とうとしている。

2013年3月 郡山市内自宅にて撮影 chiaki

■申込方法

●FAX または e-mail でお申し込みください●

①フォトボイス報告会②〒住所、③名前(ふりがな)、④年齢、⑤電話番号、⑥FAX 番号、e-mail アドレス、⑦保育希望の方は子どもの名前(ふりがな)年齢(月齢)と保育カード送付のための FAX 番号か e-mail アドレスを明記。

(個人情報適切に管理し、講座目的以外には使用いたしません)

●申込先●

■FAX: 03-5764-0604

■e-mail escena@escenaota.jp

■主催・問合せ先：会場地図は裏面

大田区立男女平等推進センター
「エセナおおた」

〒143-0016 大田区大森北 4-16-4

TEL : 03-3766-4586

FAX : 03-5764-0604

E-mail : escena@escenaota.jp

■共催

NPO 法人フォトボイス・プロジェクト
フォトボイスせんだい